

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公開番号】特開 2012-68615 (P2012-68615A)

【公開日】平成 24 年 4 月 5 日 (2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-014

【出願番号】特願 2011-113267 (P2011-113267)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/027 (2006.01)

C 0 8 F 22/22 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/004 5 0 1

G 0 3 F 7/004 5 1 2

G 0 3 F 7/027 5 0 2

C 0 8 F 22/22

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 5 日 (2014.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

平均アスペクト比が 30 ~ 100 であり、かつ体積平均粒子径が 5 ~ 50 μ m である無機フィラーを含有することを特徴とする感光性樹脂組成物からなる、中空構造を有する電子部品において前記中空構造を形成するための蓋材又はリブ材。

【請求項 2】

前記の無機フィラーは、平均アスペクト比が 50 を超え 100 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の中空構造を有する電子部品において前記中空構造を形成するための蓋材又はリブ材。

【請求項 3】

前記の感光性樹脂組成物が、無機フィラーと共に、(A) 少なくとも 1 つのエチレン性不飽和基を有する光重合性化合物と、(B) 光重合開始剤とを含有してなる請求項 1 又は 2 に記載の中空構造を有する電子部品において前記中空構造を形成するための蓋材又はリブ材。

【請求項 4】

前記の (A) 少なくとも 1 つのエチレン性不飽和基を有する光重合性化合物が、アクリレート化合物又はメタクリレート化合物である請求項 3 に記載の中空構造を有する電子部品において前記中空構造を形成するための蓋材又はリブ材。

【請求項 5】

前記のアクリレート化合物又はメタクリレート化合物が、アミド基を含有するものである請求項 4 に記載の中空構造を有する電子部品において前記中空構造を形成するための蓋材又はリブ材。

【請求項 6】

前記感光性樹脂組成物において、前記無機フィラーの含有量が、感光性樹脂組成物の固形分全量を基準として 20 ~ 50 質量%であることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか

に記載の中空構造を有する電子部品において前記中空構造を形成するための蓋材又はリブ材。

【請求項 7】

硬化後の引張り弾性率が、150 において6.0 GPa以上である請求項1～6のいずれかに記載の中空構造を有する電子部品において前記中空構造を形成するための蓋材又はリブ材。

【請求項 8】

請求項1～6のいずれかに記載の感光性樹脂組成物をフィルム状に成形してなる感光性フィルムからなる、中空構造を有する電子部品において前記中空構造を形成するための蓋材又はリブ材。